



さあ、答え合わせをしよう！

Vol.72 調べてみよう～絵でみる時代のながれ①

※ココを見てね! ▶ 調べてみよう～絵でみる時代のながれ

1. 氷河時代(ひょうがじだい)という、地球がもっとも寒かったころを日本では なに時代とよんでいますか？

正解:①旧石器時代(きゅうせっきじだい)

答えはイラストの左上に書いてあったね。①旧石器時代(きゅうせっきじだい)が正解です。ここでは氷河時代(ひょうがじだい)について、もう少し詳しく話してみるね。みんなは、北極(ほっきょく)や南極(なんきょく)がとても分厚(ぶあつ)い氷に覆(おお)われていることは知っているよね?この2つの大陸は、降り積(つ)もった雪が長い年月をかけて広い土地を覆(おお)い、厚い氷=氷床(ひょうしょう)となったもの。氷の厚さは平均(へいきん)2,500m もあります。氷河時代は、地球(ちきゅう)の気候(きこう)が寒冷化(かんれいか)し、地表(ちひょう)と大気(たいき)の温度(おんど)が長期間にわたって低下(ていか)します。北極(ほっきょく)や南極(なんきょく)では雪が氷床となり、高山域(こうざんいき)では氷河(ひょうが)となり、拡(ひろ)がってゆく時代です。そして、46億年という気の遠(とお)くなる地球の歴史において、今わかっている氷河時代は第四紀まであり、私たちが生きている現在も、実は「氷河時代」なんです。この氷河時代は約260万年前に始まり、寒冷(かんれい)な氷期(ひょうき)と温暖(おんだん)な間氷期(かんびょうき)をくりかえしています。つまり、「今」は、氷期(ひょうき)と氷期(ひょうき)の間の「間氷期(かんびょうき)」とよばれる暖(あたた)かい時期(じき)にあたります。日本には四季(しき)があり、北は北海道(ほっかいどう)から南は沖縄県(おきなわけん)まで、それぞれ温度差(おんどさ)はあるものの、春は暖(あたた)かく、夏は暑(あつ)い、秋は涼(すず)しく、冬は寒(さむ)い、という春夏秋冬(しゅんかしゅうとう)に合わせて暮(く)らしているからピントこないだろうけど、「調べてみよう～旧石器時代(きゅうせっきじだい)」**①**でも解説(かいせつ)しているので、イラストといっしょにあらためて読んでみてね!

2. 日本列島(れっとう)で米づくりがはじまったのは、弥生時代のことです。さて、どこから伝わったのかな？

正解:③朝鮮半島(ちょうせんはんとう)

WEBサイトを見れば、これはカンタンだったね。正解は、③朝鮮半島(ちょうせんはんとう)。海の向こうとはいえ、朝鮮半島(ちょうせんはんとう)とは大昔から交流(こうりゅう)があり、日本列島(れっとう)に渡来人(とらいじん)が移(うつ)り住(す)んだことで、米づくりのほかにも、絹(きぬ)をつくる技術(ぎじゅつ)や青銅器(せいどうき)、須恵器(すえき)…など、いろんなものが伝わりました。一方、中国からは、お茶や箸(はし)、陶磁器(とうじき)などの日用品、仏教(ぶっきょう)を代表とする文化が伝わりました。ちなみに、日本の仏教(ぶっきょう)は、インド発祥(はっしょう)のものが中国経由(けいゆ)で伝わってきたものです。これらのことは「調べてみよう～弥生時代(やよいじだい)・飛鳥時代(あすかじだい)・奈良時代(ならじだい)」でも解説(かいせつ)しているよ。

3. 磨製石器(ませいせっき)が登場(とうじょう)するのは、なに時代(じだい)？

正解:①縄文時代(じょうもんじだい)

あらゆる生物のなかで、道具(どうぐ)を使うのは人間だけです。人類(じんるい)は、自分たちの暮(く)らしに必要なモノを作り、工夫(くふう)を重ねてきました。旧石器時代(きゅうせっきじだい)に活躍(かつやく)した打製石器(だせいせっき)を磨(みが)くことで、石器の表面がより滑(なめ)らかになり、より鋭利(えいり)になって、道具(どうぐ)の持つ性能(せいこう)が高まりました。磨製石器(ませいせっき)の登場(とうじょう)は、縄文時代(じょうもんじだい)。正解は①です。モノづくりは、生きることの原点(げんてん)だと言えそうです。